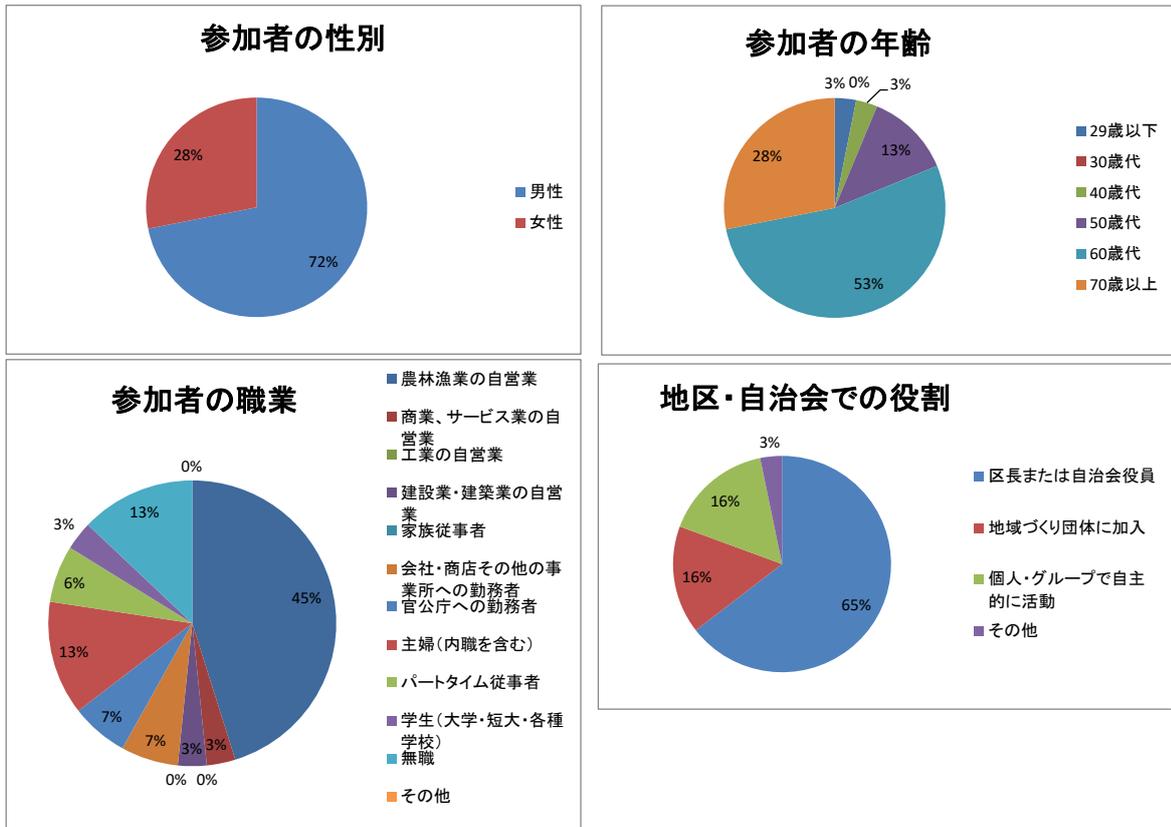


## 上庄地区ワークショップでのアンケート集計結果



### 自由意見

- ・バス停が上庄にほしい。
- ・障がい者との心のつながりが足りない気がする。障がい者といっても身体障がい者だけでなく発達障がいや精神障がいなど、見た目で見分らない障がいもあるので、障がいへの理解が足りない。
- いろいろな年代、男女、いろんな立場の人が一堂に集まって行うワークショップは貴重だと思う。いろんな意見を聞けて良かった。一度きりでなく、持続してこういうワークショップを行うとよい。もっとフレンドリーな雰囲気でもよいかな。
- ・市がやっている事業について、市民まで届いていないと感じた。
- ・人口減少対策、どうしたらいいのか、グループでもわかりませんでした。
- 公共交通手段の確保について、市内循環バスは充実しつつあるようだが、村部と市街地を結ぶ路線が徐々に減っている。これは利用者減によるものだろうが、減便すればますます不便になり利用者も減り悪循環が生じている。加えて、市内バスとの連絡が非常に悪い。高齢者の免許返納も考えると、乗り合いタクシー等だけではいかなものかという気もする。市内と村部をスムーズに行き来できるような交通手段を作れば、まちなかの活性化にもつながると思う。交通網は大切な。これから高齢化社会に向かっているのが目に見えているので、さらに交通網に力を入れてもらいたい。
- ・越前おおのブランドって、すこサイダーのようにまだまだおいしいものがあると思いますし、もっと見つけて発信をもっと考えてほしいです。
- ・雨や雪の日でも子どもたちが遊べる場所がほしいです。
- ・ワークショップ型での意見交換は大変活発に進めることができ良かったです。
- ・人口減少問題は最大の課題で個別に出会いを求める場や機会が少ないので行政サポートで出会いの場を設け、市の人口が増える対策を第一の政策にしていくことを考えてほしい。人口が増えれば多くの課題が解決できると思います。
- 地域を愛する気持ちを持つことが大切だと思います。
- ・知らないことがいろいろとありました。これは自分の目で確認できないからだと思います、もっとアンテナをたてたいと思いました。
- ・子、孫にと思うと、このままで良いのかと思いました。
- 今まで大変無関心でしたが、今後意識していろんなことに協力したいと感じました。それなりに自分の道路脇などきれいに花を植えたりしております。
- 人口減少、少子高齢化が進む中で、次の世代に豊かさと活力をどのように引き渡していくか？  
地域の活力を世代間で継承し、地域に誇りを持ちながら生活できるような大野づくりをしていくには、やはり各地区の問題、課題をなるべく各地区で解決していけるような、地域の運営組織の充実が必要になってくるのかもしれない。
- 集落の戸数が減少してきている。高齢者が多くなり、地区行事に人が集まらない。
- 自治会へ出張して行政より発言してほしい。区民での話がほしい。
- 知らないことが多すぎて、判断ができない項目が多かった。市や公民館でももっと周知ができる方法等を考えて取り組んではどうか？
- 項目が多すぎる。項目を絞って集中してやる。

<p>・今の社会はおかしい。家、車、ケイタイ等、働かなければみんなと同じレベルにならない。休日は仕事疲れで何もしたくなくなる。 ・ワークショップはよいことだと思うが、時間がない。</p>
<p>まちづくり、机上プランがうますぎる。プランづくりの主体は市民です。計画策定のプロセスが大切です。もっときめ細かい策定の場多く持つほしい。公民館が拠点となって地域づくり、人づくりに努めてほしい。</p>
<p>いろいろな意見があると感じました。</p>
<p>基本施策9の保健医療分野で、人間ドックの受診を簡易(容易)にしてほしい。</p>